

校長室の窓からNo. 13 (H29.3.8)

シリーズ「こころの旅①」

～3年後の子どもたちへ～



3月1日は、多くの高校が卒業式でした。この日に前任校でお世話になったある保護者の方から、1冊の文集をいただきました。前任校でのことです。私の前任校は、お隣の中学校で、中学校から隣の小学校に異動する珍しい人事異動となったのですが、今から3年前、卒業を目前にした日に卒業生の保護者の方から、「3年後の子どもたちに宛てた文集をつくりたいので、校長先生もご協力をお願いします。」旨の原稿依頼がありました。保護者の方々が文集をつくること自体が

珍しく、最初は驚くばかりで、「えっ？」と思いました。詳しく聞いてみると、「3年後は高校3年生を卒業する頃になるので、それぞれが様々な進路へと旅立つことになります。子どもたちは3年後の自分に宛てた手紙、保護者は3年後の子どもたちに向けた手紙を書くような方法で、文集に残して、3年後に配付したいのです。」とのことでした。さらに同じ保護者から、「3年前に思っていた子どもたちの思いや保護者の方々の思いを振り返り、3年後の思いと比べてみたいのです。」という旨の話が続きました。そのとき、「なんと素晴らしい発想なのだろう。」と思いました。私もすぐに快諾し、全力で原稿を執筆することになりました。その原稿は拙稿ではありますが、標題を「こころの旅」にしようと思ったきっかけとなった内容です。また、お子さんの将来を考えたり、お子さん自身が進路のことで悩んだり迷ったりした場合に、何かの参考になればと思ひまして、以下、全文にてご紹介します。

「3年後の子どもたちへ」

夢や目標に向かって何かをやろうとしたら、「そんなことは無理に決まっている。」「そんなことをやってどうするんだよ。」と耳元で囁く人が必ずいます。そういう人は夢を壊す人です。そういうことはしてはいけません。また、そういうことに、絶対負けないで頑張ってもらいたいです。夢や目標こそ、人生の道標です。夢や目標をもち、それに向かって踏み出さない限り何も起こりません。ぜひ、夢や目標をもつ人・叶える人になってもらいたいです。

しかし、自他ともに完璧を望んではいけません。また、そんなことはあり得ないことなのです。7割か8割くらい、あるいは5割の達成でも立派なものです。野原に咲く草花、高山に育つ高山植物など、どの花(植物)を見ても完ぺきではありません。しかし、それぞれに特質を有しておりまして、その時代時代にその特質が少しずつ発見され、ある時代にはその花(植物)が医薬品の原料となり、別な時代では科学の一発見に結びつき、時代の飛躍的な進歩につながるとかです。人間一人一人も同じことが言えるのではないのでしょうか。それぞれに特質、すなわち、個性や能力を有し、そこに沢山の未来が詰まっています。ただ、そのことに自分自身が気づかないことや、これ

から出てくる芽を見つけられないでいるだけです。

自分を信じること、前向きな生き方は、「自分力」と言われています。将来にわたり、その力を可能な限り高めることです。夢は果てしなく、人として生きる、かけがえのないものを大事にするなど、自他を大事にし、希望や目標をもって進んでほしいと願っています。

そして、3年後の皆さんは、さらに成長し人生の大きな岐路に差し掛かります。具体的には就職や進学等のそれぞれの進路で、場所や内容がさらに大きく異なる方向に舵を切ることになるということです。換言すると、人生の節目という言い方をする人もいます。

さて、人生の岐路あるいは人生の節目に当たって大切なことは、「常に選択したのが最善の道」と考えて前向きに突き進むことです。いわゆる成功している人でも、人生の岐路・人生の節目で迷い悩みます。ただ、彼らが普通の人と違うのは、いったん選択したら、その道を信じて全力で進むことにあります。中には、人生の選択を間違ったと思う人がいるかもしれませんが、私はそう思っほしくないと考えています。一見、判断を誤ったかのように思えても、その後で幸せが待っているかもしれません。一見、判断を誤ったかのように思える場面は、幸せを手に入れる試練であり前兆かもしれません。自分の選択した道が正しいと信じて前向きに進んでいけば、少なくとも自信をもって生きることができると考えます。そういう生き方そのものが幸せな人生という人もいます。仮に舵を変え進路を変更してもそれが最善と考えれば大丈夫です。要するに、自分の人生に自信をもつことです。人生の岐路や人生の節目は、数年ごとにあるというわけではありません。主体的に自立した考えや行いができるようになると、自分の生き方に肯定感が生まれ、自分の成長にプラスになることならなんでも貪欲に受け入れ、毎日が岐路・節目になり、推進力がさらに働くはずです。皆さんの益々のご健勝とご多幸を祈ります。



大正小学校のスケートリンク



2016年10月22日、校区にある幸福駅は、台湾新竹県の合興駅と姉妹駅協定が結ばれました。素晴らしいことです。幸福駅は、近郊の愛国駅とともに、国内外からの観光客が多くなりました。